



リリース・ノート

Sybase Control Center 3.2.5

ドキュメント ID：DC01806-01-0325-01

改訂：2012年2月

Copyright © 2012 by Sybase, Inc. All rights reserved.

このマニュアルは Sybase ソフトウェアの付属マニュアルであり、新しいマニュアルまたはテクニカル・ノートで特に示されないかぎり、後続のリリースにも付属します。このマニュアルの内容は予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されているソフトウェアはライセンス契約に基づいて提供されるものであり、無断で使用することはできません。

アップグレードは、ソフトウェア・リリースの所定の日時に定期的に提供されます。このマニュアルの内容を弊社の書面による事前許可を得ずに、電子的、機械的、手作業、光学的、またはその他のいかなる手段によっても、複製、転載、翻訳することを禁じます。

Sybase の商標は、Sybase の商標リスト (<http://www.sybase.com/detail?id=1011207>) で確認できます。Sybase およびこのリストに掲載されている商標は、米国法人 Sybase, Inc. の商標です。® は、米国における登録商標であることを示します。

このマニュアルに記載されている SAP、その他の SAP 製品、サービス、および関連するロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP AG の商標または登録商標です。

Java および Java 関連のすべての商標は、米国またはその他の国での Oracle およびその関連会社の商標または登録商標です。

Unicode と Unicode のロゴは、Unicode, Inc. の登録商標です。

このマニュアルに記載されている上記以外の社名および製品名は、当該各社の商標または登録商標の場合があります。

Use, duplication, or disclosure by the government is subject to the restrictions set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of DFARS 52.227-7013 for the DOD and as set forth in FAR 52.227-19(a)-(d) for civilian agencies.

Sybase, Inc., One Sybase Drive, Dublin, CA 94568.

目次

製品の概要	1
インストールとアップグレード	1
Sybase Control Center 3.2.5 のインストールと実装	1
サポートされているサーバのバージョン	2
サポートされている製品モジュールとリリース済み のマニュアル	3
既知の問題	4
インストール、アップグレードと配備に関する既知 の問題	5
Sybase Control Center の既知の問題	6
Adaptive Server に関する既知の問題	8
Data Assurance に関する既知の問題	11
Replication に関する既知の問題	12
Sybase IQ に関する既知の問題	16
アクセシビリティに関する既知の問題	20
マニュアルの変更	22
追加の説明や情報の入手	25
サポート・センタ	26
Sybase 製品およびコンポーネントの動作確認	26
MySybase プロファイルの作成	26
アクセシビリティ機能	26
Sybase Control Center アクセシビリティ情報	27

目次

製品の概要

このリリース・ノートには、Sybase® Control Center の最新情報が記載されています。より新しいバージョンが Web で提供されていることがあります。

Sybase Control Center 3.2.5 は、Sybase 製品のモニタ機能と管理機能を備えた製品です。

サポートされているオペレーティング・システムについては、『Sybase Control Center インストール・ガイド』を参照してください。

このバージョンの新機能については、Sybase Control Center の製品モジュールごとのオンライン・ヘルプで、新機能に関するトピックを参照してください。

アクセシビリティについては、このリリース・ノートの「アクセシビリティ機能」(26 ページ)と「Sybase Control Center アクセシビリティ情報」(27 ページ)を参照してください。

インストールとアップグレード

インストールとアップグレードに関する『インストール・ガイド』への追加および訂正、または重要事項の最新情報を示します。

Sybase Control Center のインストールの詳細については、『Sybase Control Center インストール・ガイド』を参照してください。

Sybase Control Center 3.2.5 のインストールと実装

設定と使用方法のガイドラインが守られていない場合、パフォーマンスに影響が出ることがあります。たとえば、UI エラーが表示されたり、収集が失敗したりすることがあります。

インストール：

十分なパフォーマンスを確保するには、Sybase Control Center サーバとして、2 つ以上の 2.4GHz プロセッサと、4GB の RAM を持つマシンを選択します。

実装：

インストールとアップグレード

- リソース – 単一の SCC サーバでモニタするリソースは、100 以下にします。より多くのリソースをモニタするには、複数の SCC サーバ間でリソースを分散し、各 SCC サーバを別々のマシン上で実行します。
- 収集ジョブ – 各管理対象リソースの収集タイプごとに設定する収集は 1 つのみとします。お使いの製品モジュールのオンライン・ヘルプで、[Configure] > [Setting Up Statistics Collection] を参照してください。

注意：一部の収集ジョブは、リソースの認証時にデフォルトで作成されます。オンライン・ヘルプで、次の項目を参照してください。

- [Sybase Control Center for Adaptive Server[®] Enterprise] > [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Adaptive Server Data Collections]
 - [Sybase Control Center for Replication] > [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Replication Data Collections]
 - [Sybase Control Center for Data Assurance] > [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Data Collections for Replication Server Data Assurance Option]
 - [Sybase Control Center for Sybase IQ] > [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Sybase IQ Data Collections]
-
- ユーザ – Sybase Control Center に同時にログインするユーザは、10 人以下にします。
 - リポジトリ – 定期バックアップの中にページを組み込んでいないかぎり、ページをオフにしないでください。デフォルトでは、ページはオンになっており、毎日実行されるように設定されています。オンライン・ヘルプで、リポジトリの定期バックアップと、リポジトリのページ設定に関するトピックを参照してください。

サポートされているサーバのバージョン

Sybase Control Center (SCC) を使用した管理とモニタをサポートするサーバのバージョンは、次のとおりです。

管理対象サーバまたはエージェント	バージョン
Adaptive Server	ノンクラスタード Adaptive Server、モニタリングと管理：15.0.2 以降 ノンクラスタード Adaptive Server、Sybase Control Center for Replication の RepAgent スレッドのみをモニタリング：12.5.4 以降 Adaptive Server Cluster Edition、モニタリングと管理：15.0.3 以降
Data Assurance	15.6 以降

管理対象サーバまたはエージェント	バージョン
レプリケーション製品	Replication Server [®] : 12.6 以降 Replication Agent [™] : 15.0 以降 Mirror Replication Agent : 15.0 以降
Sybase IQ	モニタリング : 15.1 ESD #2.1 以降 管理 : 15.3 以降

サポートされている製品モジュールとリリース済みのマニュアル

このリリースの Sybase Control Center の製品モジュールと、リリース済みマニュアルのバージョンについて説明します。

最新の製品モジュールは、次のとおりです。SCC は、前のバージョンもサポートしています。

次のリストを使用して、ご使用の SCC 製品モジュールが最新バージョンかどうかを確認してください。更新された最新の製品モジュール・プラグインは、downloads.sybase.com からダウンロードできます。

Sybase Control Center 3.2.5 でサポートされている製品モジュール
Sybase Control Center for Adaptive Server Enterprise 3.2.5
Sybase Control Center for Replication 3.2.3
Sybase Control Center for Sybase IQ 3.2.3
Sybase Control Center for Data Assurance 3.2.1

このリストを使用して、適切なリリース・ノートとインストール・ガイド製品マニュアル Web サイト (sybooks.sybase.com) を判断してください。

Sybase Control Center 3.2.5 のリリース済みマニュアル
リリース・ノート : Sybase Control Center 3.2.5 (このマニュアル)
インストール・ガイド : Sybase Control Center 3.2.3

注意： Web サイト上のマニュアルは、改訂されることがあります。マニュアルが更新されていないかどうかを定期的に確認することをおすすめします。

既知の問題

Sybase Control Center に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

インストール、アップグレードと配備に関する既知の問題

Sybase Control Center のインストール、アップグレード、および配備に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要求番号	説明
677805	<p>同じホスト上に SCC サーバの 2 つめのインスタンスを配備できない。</p> <p>agent.log にエラーが表示されます。</p> <pre>2011-07-14 16:39:21,131 [ERROR] [asa.ASAInstanceManagerService] [Agent Bootstrap Thread] - com.sybase.ua.service.AgentServiceException: Failed to start database engine com.sybase.ua.services.asa.ASAEngine\$InvalidConnectionException: The connection to scc_repository is not valid. The file location /net/hmoconc/omni/cisqa/skibba/sccinstance_test/sybase/SCC-3_2/instances/sccnhrh564d. sybase.com/services/Repository/scc_repository.db does not match the file location specified in the service-config.xml (/net/hmoconc/omni/cisqa/skibba/sccinstance_test/sybase/SCC- 3_2/instances/instance2/services/Repository/scc_repository.db). This may indicate that another SCC repository server is running from a different installation directory and the connection is being made to the wrong server instance. Check to make sure any SCC repository servers running on the network each have a unique server name and tcp port.</pre> <p>この問題は、2 つのインスタンスのうちの 1 つが SCC エージェントである場合には (より一般的なシナリオでは) 発生しません。</p> <p>対処法: 運用環境の単一のホスト・コンピュータ上で、2 つ以上の SCC サーバ・インスタンスを実行することは、おすすめしません。テストまたは開発環境で、2 つめのサーバ・インスタンスを有効にするには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 つめのサーバ・インスタンス上で、次のファイルを開きます。 SCC-3_2/instances/<instance2>/services/SccSADataserver/service-config.xml 次の行を検索します。 <pre><set-property property="com.sybase.asa.server.name" value="scc_repository" /></pre> scc_repository を異なる名前 (たとえば、scc_repository2 や scc_repository_instancename など) に変更します。

変更要求番号	説明
586837	<p>Sybase Control Center リポジトリである SQL Anywhere データベースが、64 ビット版の SuSE Linux Enterprise Server 11 SP1 上で起動しない。</p> <p>対処法：次のコマンドを SCC を起動する前に実行するか、または SCC-3_2/bin/scc.sh の先頭に追加します。</p> <pre>ulimit -v 59326240</pre> <p>このコマンドは、Sybase Control Center が使用できる仮想メモリを増やします。</p>

Sybase Control Center の既知の問題

すべての製品モジュールに存在する Sybase Control Center コア機能の既知の問題とその対処方法。

変更要求番号	説明
697145 618754	<p>Sybase Control Center リポジトリのインクリメンタル・バックアップを使用して、データベースをリカバリできない。</p> <p>対処法：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SCC を停止します。 2. テキスト・エディタで次のファイルを開きます。SCC-3_2/services/SccSADataserver/service-config.xml 3. 次の行を削除します。 <pre><set-property property="com.sybase.asa.database.options" value="-m" /></pre> 4. 変更を保存して、SCC を起動します。 <p>この変更の後に作成したインクリメンタル・バックアップを使用して、リポジトリ・データベースをリストアできます。</p>
618904	<p>Windows Vista で Sybase Control Center にログインすると、証明書が不正なために SSL ハンドシェイクで例外が発生したというメッセージが Agent ログに表示される。</p> <p>対処法：この例外は無視しても問題はありません。</p>

変更要求番号	説明
587717	<p>モニタリング・ビューおよび統計チャートのデータヒントが、ブラウザ画面上でのチャートの表示場所にかかわらず、一定の場所に表示される。画面上でチャートを移動しても、データヒントがチャートとともに移動しない。</p> <p>(データヒントとは、グラフまたはチャート上の特定のスポットのデータ値を表示するツールチップで、そのスポット上にカーソルを置くと表示されます。) データヒントは、すべての製品モジュール・プラグインで表示されます。</p> <p>対処法: なし。これは、Adobe Flex SDK の問題です。</p>
576129	<p>ブラウザを再表示するために [F5] キーを押すと、Sybase Control Center からログアウトする。</p> <p>ブラウザを再表示しても、Sybase Control Center 内のデータは更新されず、ブラウザにロードされたアプリケーションまたはページが更新されます。この場合、Sybase Control Center の基盤となっている Adobe Flash が更新されます。このため、[F5] キーを押すと、Sybase Control Center を含む、現在ログイン中のすべてのサーバからログアウトすることになります。</p> <p>対処法: Sybase Control Center にログインしているときには、[F5] キーを使用しないでください。</p>
560601	<p>IPv6 フォーマットを使用したときに、Sybase Control Center の HTTP リダイレクトが失敗するためにログインできない。</p> <p>Sybase Control Center の IPv6 HTTP URL を使用すると、本来ならば HTTPS にリダイレクトされますが、リダイレクトされません。たとえば、次の URL は機能しません。</p> <p><code>http://myscc64.v6:8282/scc</code></p> <p>対処法: HTTPS フォーマットの URL と、IPv6 ネットワークの SCC に接続するポートを使用します。例を示します。</p> <p><code>https://myscc64.v6:8283/scc</code></p>

Adaptive Server に関する既知の問題

Sybase Control Center for Adaptive Server に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要求番号	説明
696024	<p>Sybase Control Center でのクラスタの管理時にスレッド・プールを削除できない。</p> <p>クラスタの管理時にはスレッド・プールを削除できません。対称型マルチプロセッシング (SMP) システムからのスレッド・プールの削除は、この問題の影響を受けません。</p> <p>対処法： isql または SCC Administration Console の [Execute SQL] ツールを使用して、drop thread pool コマンドを実行します。構文は次のとおりです。</p> <pre>drop thread pool <thread pool name> for instance <instance name></pre>
695138	<p>Sybase Control Center で Unified Agent 2.5 を認証できず、ログ・ファイルの表示も Adaptive Server の起動もできない。</p> <p>表示されるエラー・メッセージ：</p> <pre>User 'uafadmin' failed to authenticate with server 'ASE155x' agent.Login failed:No successful loginmodules.Please check credentials.</pre> <p>対処法： Unified Agent の認証には、新しいデフォルトのパスワードである Sybase4me を使用します。デフォルトのパスワードは直ちに変更することをお勧めします。</p>
692002	<p>インスタンス・レベルのローカル・エンジン・グループ ID が、実行クラスの生成された DDL に含まれていない。</p> <p>共有ディスク・クラスタの実行クラスにバインドされているローカル・エンジン・グループから生成された DDL 出力には、そのインスタンスのインスタンス ID が含まれていません。</p> <p>対処法： Administration Console の [Execute SQL] ビューから sp_addexclass を使用します。</p>

変更要求番号	説明
690795	<p>カーネル・モードを変更し、Adaptive Server を再起動した後、Sybase Control Center のモニタ・ビューが正常に更新されない場合や、カーネルが変更されたことが正常に表示されない場合がある。</p> <p>Sybase Control Center の [Configuration] 画面でカーネル・モードをスレッド・モードとプロセス・モードの間で変更し、サーバを再起動しても、モニタ・ビューが正常に更新されない場合や、プロセス・モードに変更した後もスレッドが表示されたままになる場合があります。</p> <p>対処法： Adaptive Server 15.7 以降でサーバ・カーネル・モードを変更したときは、このリソースがモニタ・ビューに正常に表示されるように、次の手順を行う必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モニタ・ダイアログ・ビューを閉じます。 2. Adaptive Server を再起動します。 3. サーバをクリアして再認証します。 4. モニタ・ビューを開いてリソースを表示します。
679782	<p>サーバに接続できない。</p> <p>デフォルトのネットワーク・パケット・サイズが 512KB より大きいと、Sybase Control Center for Adaptive Server は Adaptive Server に接続できません。この問題は SAP Business スイートで最もよく見られる問題です。</p> <p>対処法： デフォルトのネットワーク・パケット・サイズが 512KB より大きい Adaptive Server に接続するには、このファイルを編集します。</p> <pre>\$SCC/plugins/ASEMAP/config.properties.</pre> <pre>encrypt_network_password=true</pre> <p>を</p> <pre>encrypt_network_password=false</pre> <p>に変更します。</p>

変更要求番号	説明
618901	<p>Adaptive Server 15.5 以前の Unified Agent の認証が Windows で失敗する。</p> <p>Adaptive Server を管理している Unified Agent を使用して Sybase Control Center を認証しようとする、次のすべての条件が当てはまる場合、失敗します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Adaptive Server バージョンが 15.5 以前である。 • Adaptive Server が 32 ビットまたは 64 ビットの Windows プラットフォームで実行されている。 • Unified Agent が NT ログイン・モジュールを使用するように設定されている。 • Windows のログインとパスワードを使用して認証を試みた。 <p>対処法： Adaptive Server 15.5 ESD #1 以降にアップグレードします。</p> <p>Adaptive Server 15.5 GA では、Unified Agent の簡易ログイン・モジュールを使用して、Unified Agent のインストールごとにログインおよびパスワードのローカル・リストを維持します。簡易ログイン・モジュールを使用する場合は、Unified Agent のインストールの一部である passencrypt ユーティリティを使用して、パスワード値を暗号化する必要があります。</p>
616855	<p>中国語の文字セットを使用するように設定されている Adaptive Server のデバイスの割り付け情報が英語ではなく中国語で表示される。</p> <p>割り付け情報を表示するには、Adaptive Server Monitor でデータベースを選択し、[Devices Used] タブをクリックします。</p> <p>対処法：なし。</p>
613300	<p>管理対象の Adaptive Server リソースが使用できない場合に、Sybase Control Center のコンソールにエラーが報告される。</p> <p>対処法：エラー・メッセージが繰り返し表示されるのを防ぐには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Perspective Resources] ビューで、Adaptive Server リソースを選択し、右側に表示されるドロップダウン矢印をクリックします。 2. [Properties] を選択します。 3. [Collection Jobs] を選択します。 4. リストされたすべてのジョブを選択します。 5. Adaptive Server リソースのすべての収集をサスペンドするには、[Suspend] をクリックします。 6. Adaptive Server リソースが使用可能になったときに収集を開始するには、[Resume] をクリックします。

変更要求番号	説明
596022	<p>Adaptive Server クラスタでフェールオーバー処理が実行されている間、このクラスタの [Adaptive Server Monitor] 画面が応答しないことがある。</p> <p>対処法：なし。</p>
589902	<p>クラスタ設定内のセグメントによって使用されている領域のサイズと量について、Sybase Control Center が誤った値を表示することがある。</p> <p>これは Adaptive Server Monitor の [Segments] 画面の [Details] タブに表示されるデータと図表に影響を与えます。</p> <p>対処法：なし。</p>
561126	<p>Sybase Control Center で <code>agent.log</code> ファイルの名前が自動的に変更された後、元のログ・ファイルに引き続きエントリが書き込まれる。</p> <p>対処法：なし。</p>

Data Assurance に関する既知の問題

Sybase Control Center for Data Assurance に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要求番号	説明
670225	<p>Data Assurance または Sybase Control Center で作成したオブジェクトの名前を変更できない。</p> <p>該当するオブジェクトには、エージェント接続、データベース接続、比較セット、ジョブなどがあります。</p> <p>対処法：希望の名前で新しいオブジェクトを作成し、古いオブジェクトを削除します。</p>
652937	<p>データの収集間隔として、5分以上が推奨されるようになった。</p> <p>ヘルプのトピック、「Setting Up Statistics Collection」では、定期データ収集の間隔を 60 秒以上に設定することが推奨されています。この内容は無視してください。現在では、間隔を 5 分以上にすることをおすすめしています。</p>

Replication に関する既知の問題

Sybase Control Center for Replication に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要求番号	説明
687151	<p>SCC for Replication 3.2.3 以前のバージョンが、RS 15.7 のマルチパス・レプリケーションをサポートしていない。</p>
687149	<p>Sybase Control Center for Replication 3.2.3 に、Replication Server 15.7 の一部の設定パラメータについての記述がない。</p> <p>対処法：記述のないパラメータに関する情報については、Replication Server 15.7 の『Reference Manual』を参照してください。このマニュアルは、製品マニュアル Web サイト (sybooks.sybase.com) から入手できます。</p>
686837	<p>[Replication Path] ダッシュボードに、中間にある Replication Server のキュー・グラフが表示されない。</p> <p>[Path] ダッシュボードを開くと、ASE Replication Agent のスレッドが常にゼロと表示されます。</p> <p>対処法：Adaptive Server Enterprise を 15.0.3 以降にアップグレードします。</p>
619404	<p>遅延時間のモニタリング・プロセスの完了時に、ステータスが自動的に更新されない。</p> <p>遅延時間のモニタリング・プロセスが完了しても、[Monitor] > [Paths] ビューでステータスが引き続き "Running" と表示されます。</p> <p>対処法：パスのステータスを更新するには、ウィンドウ枠内のパス以外の場所をクリックして、パスからフォーカスを外してから、パスを再度クリックします。</p>
619385	<p>遅延時間モニタリング履歴チャートの積み上げ縦棒に空白が表示されることがある。</p>
618454	<p>遅延時間モニタリング履歴チャートへのデータの読み込み時にアクセスできるのは、遅延時間モニタリング収集の開始時刻と終了時刻のみです。2つ以上の rs_ticket が収集されている場合、両方のチケットについて、チャート内で1つの時刻のみ、つまり1つの縦棒のみが報告されます。これが、積み上げ縦棒内で空白のように見えます。</p> <p>対処法：なし。</p>

変更要求番号	説明
619382 618772	<p>ASE 以外のレプリケート・データベースから遅延を取得できない。</p> <p>Sybase Control Center は、次の 2 通りの方法で遅延をモニタします。第 1 の方法は、レプリケート・データベースにある rs_lastcommit テーブルを読み込む方法です (デフォルト)。第 2 の方法は、レプリケート・データベースにある rs_ticket_history テーブルを読み込む方法です (設定が必要です)。遅延モニタリングで rs_ticket_history テーブルを使用すると、Sybase 以外のレプリケート・データベースへの接続情報を設定できます。しかし、rs_lastcommit を使用するデフォルトの遅延モニタリングでは、Sybase 以外のレプリケート・データベースへの接続情報を設定できません。したがって、Sybase Control Center は、Sybase 以外のレプリケート・データベースの rs_lastcommit テーブルにアクセスできません。このため、遅延時間チャートに、遅延時間がゼロと表示されます。以上のことは、[Path] ダッシュボードの遅延時間チャートにも当てはまります。</p> <p>対処法： Sybase 以外のレプリケート・データベースの遅延時間をモニタリングするには、遅延モニタリングを設定して使用します。詳細については、『Sybase Control Center インストール・ガイド』を参照してください。</p>
616952	<p>接続が正しく定義されているかによって、トポロジ・ビュー内の接続を表す矢印の表示が異なる。</p> <p>トポロジ内で接続を表す矢印が指す方向は、Replication Server の接続がどのように定義されているかに左右されます。Sybase 以外のデータ・ターゲットへの複製専用接続にプライマリ接続定義が使用されている場合、Replication Server と Sybase 以外のデータ・ターゲットの間の接続を表す矢印は、誤った方向、つまりターゲットに向かうのではなく、ターゲットから Replication Server に向かう矢印になることがあります。</p> <p>対処法： Sybase 以外のレプリケート・データベースへの Replication Server 接続定義を作成するときは、プライマリ接続定義の作成に使用される with log transfer 句を省略します。</p>

変更要求番号	説明
616831	<p>Adaptive Server クラスタが応答を停止したときに、複製に表示されている RepAgent スレッドのステータスが "Down" になっている。</p> <p>SCC を使用して、Adaptive Server クラスタとそのノードの 1 つを登録できます。SCC が Adaptive Server クラスタ内の複製をモニタリングしている間に、登録済みノードが応答を停止すると、RepAgent スレッドのステータスと、ノードのステータスの両方が "Down" と表示されます。SCC は、機能している別のノードに自動的に切り替わりません。</p> <p>対処法：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Perspective Resources] ビューで、問題となっている Adaptive Server クラスタを選択し、名前の右側に表示されるドロップダウンの矢印をクリックします。 2. [Properties] > [Connection] を選択します。 3. 接続パラメータを、この Adaptive Server クラスタ内の機能しているノードのパラメータに変更して、[Apply] をクリックします。
616694 614419	<p>単一の Replication Server がダウンしたときに、複数のエラー・メッセージが表示される。</p> <p>モニタ対象の Replication Server 1 台がダウンすると、agent.log に複数のエラー・メッセージが記録されます。モニタ対象のすべての Replication Server によって適切なエラー・メッセージが報告されるため、エラー・メッセージが他の Replication Server から報告されているように見えます。</p> <p>対処法：なし。</p>
611190	<p>複製状態の時に、[Quick Admin] ビューで Replication Agent パラメータを設定すると、変更が正常に適用されていない場合でも、[Show changes applied this session] を選択すると、変更が表示される。</p> <p>対処法：なし。</p>
611023	<p>pdb_xlog_device パラメータに空の値が設定されていると、空の値は有効であるにもかかわらず、Replication Agent の [Quick Admin] ビューで無効と表示される。</p> <p>対処法：なし。</p>
578836	<p>複製アクセス・ライブラリ・ストアド・プロシージャが Replication Server システム・データベース (RSSD) から削除されると、Replication Server のデータ収集が失敗する。</p> <p>対処法：Sybase Control Center から Replication Server の登録を解除し、再度登録します。</p>

変更要求番号	説明
565911	<p>[Path] ダッシュボードを開いたときに、RepAgent スレッド・グラフが表示されない。</p> <p>対処法： Replication Server では、大文字と小文字が区別されます。Adaptive Server 名と、接続名およびルート名は、大文字、小文字の表記も含めて一致する必要があります。大文字と小文字の違いがある場合は、Adaptive Server の登録を解除し、正しい表記を使用して登録し直します。</p>
563885	<p>複写対象として登録された Adaptive Server を右クリックしても、[Launch Statistics Chart] オプションが表示されない。</p> <p>対処法： なし。</p>
562600 562598	<p>Replication Server のデータ収集ジョブで、[Repeat once] と [Repeat indefinitely] オプションがサポートされていない。</p> <p>これらのオプションのいずれかを選択すると、ジョブは作成されますが、SCC は統計値を収集しません。SCC は、SCC コンソールとログ・ファイルにエラー・メッセージを書き込みます。</p> <p>対処法： 収集ジョブのオプションを [Repeat until] に変更して、ジョブが特定の回数実行されるようにします。</p>
559160	<p>Replication Server のパフォーマンス統計収集が、Replication Server 12.6 と 15.0 をサポートしていない。</p> <p>バージョン 12.6 と 15.0 のモニタ・インタフェースおよびカウンタ・インタフェースは、Replication Server 15.0.1 以降のインタフェースと異なります。</p> <p>対処法： なし。</p>

Sybase IQ に関する既知の問題

Sybase Control Center for Sybase IQ に関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更 要求 番号	説明
686989	<p>Group フォルダの Manage Members および Manage Parent Groups と、Users フォルダの Manage Parent Groups で、[Shift] キーを押したままクリックして複数のユーザを追加できない。</p> <p>選択したユーザは強調表示され、右側のウィンドウ枠に移動されますが、[OK] をクリックすると、ダイアログが閉じられ、ユーザは追加されていません。[Shift] キーを押しながらクリックして、グループからユーザを削除したり、親グループからグループを削除することはできません。</p> <p>対処法：[Ctrl] キーを押しながらクリックして、複数のユーザを追加します。</p>
686963	<p>[Server Properties] を使用してサーバの設定を変更し、さらに [Request Logging] ページまたは [Options] ページで変更を追加した場合、サーバ設定プロセスは実行されるが、追加の変更が行われない。</p> <p>対処法：それぞれのページの [Server Properties] で変更を加え、ページごとに [OK] をクリックします。</p>
685761	<p>マルチプレックス・ノードでアラートの複製を作成すると、スクリプトと電子メール・サブスクリプションが含まれない。</p> <p>対処法：ノードごとに個別にアラートを作成するか、またはアラート・ウィザードを使用して複製を作成し、ウィザードを終了してから、アラートによってトリガされるスクリプトと電子メール・サブスクリプションを複製に追加します。</p>
685609	<p>マルチプレックス・ノードでアラートを解決すると、同じアラートが他のノードにもある場合、ハングすることが多い。</p> <p>対処法：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数分待ってから、もう一度試してください。 2. アラートを削除し、新しいアラートを作成します。

変更 要求 番号	説明
685207	<p>[INC Properties] ダイアログで、マルチプレックス・セカンダリ・サーバの Liveness Timeout 値が、常に 0 秒と表示される。</p> <p>値をデフォルト (120 秒) のままにしている場合や、設定エディタで値を設定して再起動した場合も、[INC Properties] ダイアログには Liveness Timeout が 0 秒と表示されます。サーバ上では値は正しく、表示のみが間違っています。</p> <p>対処法：</p> <ul style="list-style-type: none">• Sybase Central を使用します。Sybase Central では、値は正しく表示されます。または、• SCC 管理コンソールで、次の手順に従います。<ol style="list-style-type: none">1. 左ウィンドウ枠で、[IQ Servers] > [Multiplex Management] を展開し、[Multiplex Servers] を選択します。2. 右側のウィンドウ枠で、サーバを選択し、右側に表示されるドロップダウンの矢印をクリックします。3. [Properties] を選択します。4. [Properties] ダイアログの左側のウィンドウ枠で、[Server Properties] を選択します。5. 右側のウィンドウ枠で、[Name] 列の上のフィルタリング・フィールドに <code>liv</code> と入力します。こうすることで、Liveness Timeout 以外のすべてのプロパティが除外されます。

変更 要求 番号	説明
676665	<p>データベースの場所を変更し、サーバを再起動した後で、元の場所に戻そうとすると、サーバが起動しなくなる。</p> <p>起動できないのは、新しいロケーションに変更したときに、古いデータベース・ファイルがそのまま残っているためです。古いロケーションに戻すと、サーバは古いファイルを検出します。</p> <p>データベース・ロケーションへのパスの確認と変更を行うには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 管理コンソールで、[IQ Servers] を選択します。 2. 右側のウィンドウ枠でサーバを選択し、サーバ名の横に表示されるドロップダウンの矢印をクリックします。 3. [Properties] を選択します。 4. [Properties] ダイアログの左側のウィンドウ枠で、[Configuration] を選択します。 <p>対処法：古いロケーションに戻す前に、古いロケーションから .db ファイル、iqmsg ファイル、.lmp ファイルを削除します。これらのファイルが存在する場合は、params.cfg、start_server.sh、および stop_server.sh も削除します。</p> <p>注意：他のファイルは削除しないでください。.iq ファイル、.iqtmp ファイル、.log ファイルは削除しないように、特に注意してください。これらのファイルを削除すると、サーバが起動しなくなることがあります。</p>
676218	<p>Administration Console の [Dbospace Properties] ダイアログで dbospace プロパティを変更すると、[DB Files Properties] ダイアログに反映されるはずなのに、自動的に反映されない。</p> <p>対処法：[Dbospace Properties] ダイアログでの変更が [DB Files Properties] ダイアログに反映されない場合、次の方法で対処します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [DB File Properties] ダイアログを閉じます。 2. 管理コンソールの左側のウィンドウ枠で、[DB Files] をクリックします。 3. [Folder] メニューで、[Refresh] を選択します。 4. 右ウィンドウ枠で dbfile を選択し、ドロップダウン矢印をクリックして、[Properties] を選択します。

変更 要求 番号	説明
676076	<p>設定ファイル・エディタの [Debug] ページで、[Debug Level] ドロップダウンに"other"、"procedures"、"triggers"、"plan"、"hostvars"、"replace"、"blocks"の各ログ・レベルが表示されない。</p> <p>対処法：表示されていないいずれかのレベルにデバッグ・レベルを設定するには、データベース・ディレクトリの params.cfg ファイルに -zr スイッチを設定します。複数のレベルを含めることができます。例：<code>-zr procedures, triggers, plans</code></p>
676079	<p>設定ファイル・エディタで、[Maximum Output File Size] のデフォルトにキロバイトが使用されている。MB または GB を指定する方法がない。</p> <p>対処法：データベース・ディレクトリの params.cfg ファイルで、-zs スイッチを使用して値を設定します。数値の後に、K、M、または G を使用します。たとえば、<code>-zs 4000K</code>、<code>-zs 240M</code>、または <code>-zs 30G</code> のようにします。</p>
670173	<p>[Database Options]、[Group Options]、[User Options] の各ダイアログで、Sybase Central で提供されているアクションである [Create Options]、[Remove Options]、[Mark Options as Permanent] を実行できない。</p> <p>対処法：これらのオプションは、Sybase Central で設定してください。</p>
669571	<p>成功したときに結果を返さないクエリの場合、管理コンソールの [Execute SQL] ウィンドウでステータスが返されない。</p> <p>Interactive SQL の場合であれば、"Execution time: 0.01 seconds" のようなメッセージが表示されます。</p> <p>対処法：なし。</p>
667673	<p>Create Dbspace ウィザードで、マルチプレックス・リーダから DB 領域を作成できてしまう。</p> <p>作成される DB 領域は有効です。</p> <p>対処法：なし。</p>
667667	<p>Sybase Control Center に登録されている Sybase IQ シンプルックス・サーバが、SCC の別のインスタンス、Sybase Central、またはコマンド・ラインを使用してマルチプレックス・サーバに変換されると、現在の SCC が変換を検出しないで、サーバをシンプルックスとして表示し続ける。</p> <p>対処法：シンプルックス・リソースを認証し直すと、SCC がマルチプレックスとして表示します。</p>

既知の問題

変更要求番号	説明
666382	<p>認証に非常に時間がかかる (特にリソースがマルチプレックスの場合)。 場合によって、[Authentication] ダイアログが終了しないことがあります。</p> <p>対処法：[OK] をクリックした後であれば、いつでも [Cancel] をクリックして、[Authentication] ダイアログを安全に終了させることができます。</p>
651730	<p>IQ Multiplex Level Monitor のトポロジ・マップが開いているときに Sybase Control Center または Sybase Central で Sybase IQ サーバの名前を変更した場合、名前の変更がトポロジ・マップに反映されない。</p> <p>対処法：IQ Multiplex Level Monitor を閉じて再び開きます。</p>
640584	<p>Sybase IQ サーバを認証するときは、Sybase IQ sysuser テーブルで定義されているのと同じ大文字/小文字で、Sybase Control Center にユーザ ID を入力する。</p> <p>大文字と小文字の違いがあっても、SCC はサーバを認証します。たとえば、sysuser には DBA と入力されていても、dba として認証できます。ただし、管理コンソールで変更を加えることはできません。</p> <p>対処法：なし。</p>

アクセシビリティに関する既知の問題

Sybase Control Center のアクセシビリティに関する既知の問題とその対処方法について説明します。

変更要求番号	説明
648803	<p>[Perspective Resources] ビューのローの場合、NVDA スクリーン・リーダが誤ったデータを読み上げる。</p> <p>対処法：なし。</p>

変更要求番号	説明
616081	<p>インストール時に、カスタマイズした表示設定が継承されない。</p> <p>Sybase Control Center のインストーラのダイアログでは、表示に関連する次のカスタマイズは継承されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザが大きなフォントを選択していても、インストーラのメッセージのフォント・サイズには反映されません。インストーラのメッセージのフォント・サイズは同じままです。 • ナレータ・スクリーンリーダー・アプリケーションは、ウィザード・ページ、ヘッダ、入力された文字を読み上げますが、ウィンドウ内の情報、ライセンス契約、またはメニューは読み上げません。 • ハイ・コントラスト設定と色設定は、インストーラのメッセージ、ヘッダ、メニュー、ボタンに反映されますが、メイン・ウィザードのウィンドウ枠の背景色には反映されません。ウィザードのウィンドウ枠の背景色がハイ・コントラスト・モードに変更されないため、一部のメッセージが読めなくなります。 <p>対処法：コンソール・モードを使用して Sybase Control Center をインストールします。</p>
615280	<p>マウスで項目をクリックするときに、フォーカスが示されないことがある。</p> <p>対処法：なし。</p>
615036	<p>Collection Job ウィザードで一部のキーを使用すると、収集テーブルから隣のウィンドウ枠に移動してしまう。</p> <p>収集テーブルからフォーカスを移動してしまうキーは、[Page Up]、[Page Down]、[Home]、[End] キーと矢印キーです。</p> <p>対処法：[Tab] キーを押して、フォーカスを収集テーブルに戻します。</p>
614800	<p>Adaptive Server のビュー、画面、またはタブ上で、キーボードから右クリックのコンテキスト・メニューにフォーカスを移して、バッファ・プールの拡張、サイズ変更、または追加を行うことができない。</p> <p>対処法：マウスを使用してフォーカスを移します。</p>
614618	<p>システム・フォントやフォントの色を変更しても、Sybase Control Center に反映されない。</p> <p>対処法：なし。これは Adobe Flex の問題です。</p>
614246	<p>Sybase Control Center ウィンドウで最小化、最大化、サイズ変更を行うコントロールのテキストをポイントしても、スクリーン・リーダーによって読み上げられない。</p> <p>対処法：なし。</p>
614243	<p>チャートの内容が、スクリーン・リーダーによって読み上げられない。</p> <p>対処法：表によっては、表のデータを含んでいる [Data] タブがあります。このデータをスクリーン・リーダーで読み取ることはできません。</p>

変更要求番号	説明
614023	<p>[Ctrl] キーを押しながら [+] キーや [-] キーを押しても、フォント・サイズが変わらない。</p> <p>対処法：[Ctrl] キーと [Alt] キーを押しながら、[+] キーや [-] キーを使用して、フォント・サイズを変更します。</p>
611421	<p>Adaptive Server のビューまたは画面で、キーボードまたはスクリーン・リーダーを使用して最小最大のアイコンにフォーカスできない。</p> <p>対処法：マウスを使用してフォーカスを移します。</p>
590271	<p>インストーラの UI：拡大鏡ユーティリティで、キーボードを使用したときにフォーカスが移らない。</p> <p>Windows のスクリーン拡大鏡では、InstallAnywhere インストール・ウィザード内でホット・キーや [Tab] キーを使用して移動しても、フォーカスが移りません。</p> <p>対処法：マウスを使用して、拡大鏡でフォーカスできるようにします。</p>
578870	<p>すべてのウィンドウ間を [Tab] キーで移動できるが、フォーカスのあるウィンドウが一番手前に来ない。</p> <p>対処法：[View] > [Select] > [<window>] を使用して、フォーカスのあるウィンドウが一番手前に表示します。</p>
563523	<p>Firefox ブラウザの場合、ログイン画面の [User Name] フィールドに [Tab] キーで移動できない。</p> <p>対処法：Internet Explorer を使用してください。</p>
562210	<p>Adaptive Server のクライアント画面の一部のセクションにフォーカスできない。</p> <p>対処法：なし。</p>

マニュアルの変更

Sybase Control Center 3.2.5 で提供されるマニュアルに加えられた更新、訂正、内容について説明します。

Windows での SCC の開始と停止に使用するコマンドの誤り

Sybase Control Center のオンライン・ヘルプのトピック「Windows での Sybase Control Center の起動と停止」で、Sybase Control Center サービスのコマンド・ラインからの起動と停止に関するセクションに記載されている SCC リリース番号は間違っています。コマンドでも画面出力でも 3.2.4 となっていますが、3.2.5 が正しい番号です。

サービスを起動するための正しいコマンド：

```
net start "sybase control center 3.2.5"
```

サービスを停止するための正しいコマンド：

```
net stop "sybase control center 3.2.5"
```

このトピックは、以下に示すヘルプ内の2か所とインストール・ガイドに記載されています。

- 「使用開始にあたって」の「Sybase Control Center の起動」の「Windows での Sybase Control Center の起動と停止」
- 「使用開始にあたって」の「運用環境での使用開始にあたって」の「Windows での Sybase Control Center の起動と停止」

Product Documentation Web サイトのヘルプでは、この問題は訂正済みです。更新済みのトピックは、Sybase Control Center 3.2.5 for Adaptive Server Documentation 製品マニュアル Web サイト (sybooks.sybase.com) でご覧ください。

SCC for ASE ヘルプから削除された重複トピック

「Properties for Engine Groups Incorrectly Displayed」というトピックが SCC に付属の Sybase Control Center for Adaptive Server オンライン・ヘルプに2回記載されていました。Product Documentation Web サイトのヘルプでは、余分な重複トピックが削除されています。トラブルシューティング・セクションにあるトピックはそのまま残っています。

アラートに関する説明： SCC for Sybase IQ

Sybase Control Center for Sybase IQ のオンライン・ヘルプに次の情報が記載されていませんでした。

データ収集名についての記述が、オンライン・ヘルプ・トピック、[Configure] > [Creating an Alert] > [Sybase IQ Alerts, Collections, and KPIs] にありません。アラートは、主要パフォーマンス指標 (KPI: Key Performance Indicator) に基づいています。データ収集ごとの KPI のリストについては、オンライン・ヘルプの [Configure] > [Setting Up Statistics Collection] > [Sybase IQ Data Collections] にあるテーブルを参照してください。CR #683329

Sybase IQ マルチプレックスのログイン認証のトラブルシューティング

Sybase Control Center for Sybase IQ のオンライン・ヘルプに次の情報が記載されていませんでした。

SCC によってモニタされるマルチプレックス・リソースは、マルチプレックス内のすべてのノードにアクセスできる共有ログイン・アカウントを使用して認証する必要があります。すべてのノードにアクセスできる権限のないログインを使用

して SCC で認証を試みると、セキュリティ・エラー "Connection disallowed by login policy for this user." が表示されます。CR #653603

Sybase IQ の設定ファイル・エディタ

Sybase Control Center for Sybase IQ のオンライン・ヘルプに次の情報が記載されていませんでした。

Sybase IQ サーバの場合、管理コンソールで [Edit Configuration File] を選択できます。設定ファイル・エディタが開き、params.cfg ファイルがデータベース・ファイルと同じディレクトリにある場合は、このファイルが読み込まれて、エディタのフィールドに params.cfg ファイルから設定パラメータが挿入されます。[OK] をクリックすると、設定ファイル・エディタによって、変更が params.cfg ファイルに書き込まれます。

データベース・ディレクトリに params.cfg ファイルが存在しない場合、設定ファイル・エディタは、フィールドにパラメータが表示されない状態で開かれ、[OK] をクリックすると、新しい params.cfg ファイルがデータベース・ディレクトリに書き込まれます。

設定ファイル・エディタは、現在のところ、データベース・ディレクトリ以外の場所に格納されているユーザ設定ファイルや、params.cfg 以外の名前が付いているユーザ設定ファイルを開くことはできません。CR #647826

管理コンソールの起動

Administration Console を起動するのがタスクに最適であるにもかかわらず、その起動手順が記載されていないオンライン・ヘルプのトピックがいくつかあります。Administration Console には、1 つのリソース、リソースのグループ、またはすべてのリソースの情報を、現在の観点で表示できます。

- Administration Console に 1 つまたは複数のリソースの情報を表示するには、[Perspective Resources] ビューでリソースを選択し、[Resource] > [Administration Console] を選択します。この方法が最も短時間で済みます。
- Administration Console にすべてのリソースの情報を現在の観点で表示するには、メイン・メニュー・バーで、[View] > [Open] > [Administration Console] を選択します。多数のリソースを監視している場合は、Administration Console にロードするのに数分かかります。CR #668582

Sybase IQ のデフォルトのデータ収集

Sybase Control Center for Sybase IQ に同梱されていたオンライン・ヘルプに次の情報が記載されていませんでした。ただし、製品マニュアル Web サイトのヘルプには含まれています。

次の情報が [Sybase Control Center for Sybase IQ] > [Configure] > [Setting up Statistics Collection] > [Sybase IQ Data Collections] に追加されました。

デフォルトの収集である、シンプレックスの可用性収集と、マルチプレックスのマルチプレックス可用性収集を常に実行することを強くおすすめします。CR #684685

Sybase IQ サーバのプロパティの要求ログ

一部の要求ログ・オプションは、まとめて指定する必要があります。詳細については、『SQL Anywhere サーバ - SQL リファレンス』 > 「システム・プロシージャ」 > 「システム・プロシージャのアルファベット順リスト」 > 「sa_server_option システム・プロシージャ」を参照してください。CR #653592

sccinstance -host オプション

Sybase Control Center オンライン・ヘルプの一部のモジュールで、**sccinstance -host** オプションがトピック[Get Started] > [Deploying an Instance from a Shared Disk Installation] > [sccinstance Command]から省略されています。

このオプションのフラグはインスタンスを実行するホストを指定しますが、これはインスタンス名がホスト名に一致しない場合にのみ必要です。**-host** を **-create** と共に使用します。CR #685883

追加の説明や情報の入手

Sybase Getting Started CD、Sybase Product Manuals Web サイト、オンライン・ヘルプを利用すると、この製品リリースについて詳しく知ることができます。

- Getting Started CD (またはダウンロード) – PDF フォーマットのリリース・ノートとインストール・ガイド、その他のマニュアルや更新情報が収録されています。
- (<http://sybooks.sybase.com/>) にある製品マニュアルは、Sybase マニュアルのオンライン版であり、標準の Web ブラウザを使用してアクセスできます。マニュアルはオンラインで参照することも PDF としてダウンロードすることもできます。この Web サイトには、製品マニュアルの他に、EBFs/Maintenance、Technical Documents、Case Management、Solved Cases、Community Forums/ Newsgroups、その他のリソースへのリンクも用意されています。
- 製品のオンライン・ヘルプ (利用可能な場合)

PDF 形式のドキュメントを表示または印刷するには、Adobe の Web サイトから無償でダウンロードできる Adobe Acrobat Reader が必要です。

注意：製品リリース後に追加された製品またはマニュアルについての重要な情報を記載したさらに新しいリリース・ノートを製品マニュアル Web サイトから入手できることがあります。

サポート・センタ

Sybase 製品に関するサポートを得ることができます。

組織でこの製品の保守契約を購入している場合は、サポート・センタとの連絡担当者が指定されています。マニュアルだけでは解決できない問題があった場合には、担当の方を通して Sybase 製品のサポート・センタまでご連絡ください。

Sybase 製品およびコンポーネントの動作確認

動作確認レポートは、特定のプラットフォームでの Sybase 製品のパフォーマンスを検証します。

動作確認に関する最新情報は次のページにあります。

- パートナー製品の動作確認については、http://www.sybase.com/detail_list?id=9784 にアクセスします。
- プラットフォームの動作確認については、<http://certification.sybase.com/ucr/search.do> にアクセスします。

MySybase プロファイルの作成

MySybase は無料サービスです。このサービスを使用すると、Sybase Web ページの表示方法を自分専用にカスタマイズできます。

MySybase プロファイルを作成するには、次の手順に従います。

- <http://www.sybase.com/mysybase> にアクセスして、[Register Now] をクリックします。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能を使用すると、身体障害者を含むすべてのユーザーが電子情報に確実にアクセスできます。

Sybase 製品のマニュアルには、アクセシビリティを重視した HTML 版もあります。

オンライン・マニュアルは、スクリーン・リーダーで読み上げる、または画面を拡大表示する方法により、視覚障害を持つユーザーがその内容を理解できるよう配慮されています。

Sybase の HTML マニュアルは、米国のリハビリテーション法第 508 条のアクセシビリティ規定に準拠していることがテストにより確認されています。第 508 条に準拠しているマニュアルは通常、World Wide Web Consortium (W3C) の Web サイト用ガイドラインなど、米国以外のアクセシビリティ・ガイドラインにも準拠しています。

注意：アクセシビリティ・ツールを効率的に使用するには、設定が必要な場合もあります。一部のスクリーン・リーダーは、テキストの大文字と小文字を区別して発音します。たとえば、すべて大文字のテキスト (ALL UPPERCASE TEXT など) はイニシャルで発音し、大文字と小文字の混在したテキスト (Mixed Case Text など) は単語として発音します。構文規則を発音するようにツールを設定すると便利かもしれませんが。詳細については、ツールのマニュアルを参照してください。

Sybase のアクセシビリティに対する取り組みについては、Sybase Accessibility サイト (<http://www.sybase.com/products/accessibility>) を参照してください。このサイトには、第 508 条と W3C 標準に関する情報へのリンクもあります。

製品マニュアルには、アクセシビリティ機能に関する追加情報も記載されていません。

Sybase Control Center アクセシビリティ情報

Sybase Control Center は、Adobe Flex アプリケーションを使用しています。

Adobe Flex のキーボード・ショートカットに関する最新の情報については、http://livedocs.adobe.com/flex/3/html/help.html?content=accessible_5.html を参照してください。

注意：Sybase Control Center を JAWS for Windows スクリーン・リーダー・ソフトウェアで効率的に使用するには、適切な Adobe スクリプトをダウンロードしてインストールします。<http://www.adobe.com/accessibility/products/flex/jaws.html> を参照してください。

追加の説明や情報の入手